

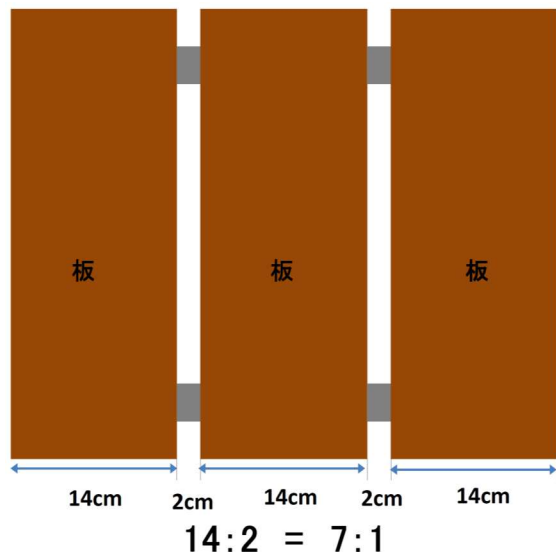
「フェンス、金網等で透視可能なもの」の判断基準

[判断基準]

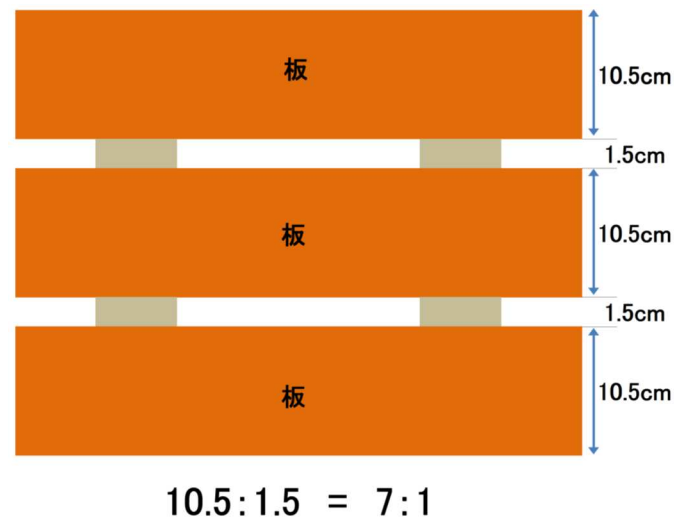
概ね均等に板と隙間※が連続している形状で、隙間幅が板幅の7分の1以上であること。

※立体的に板が配置されている場合、前後の板の奥行き幅を 1.41 で除した値を隙間幅とみなす。

[例 1 縦縞の柵の場合]



[例 2 横縞の柵の場合]



[例 3 立体的に板が配置されている柵の場合]

